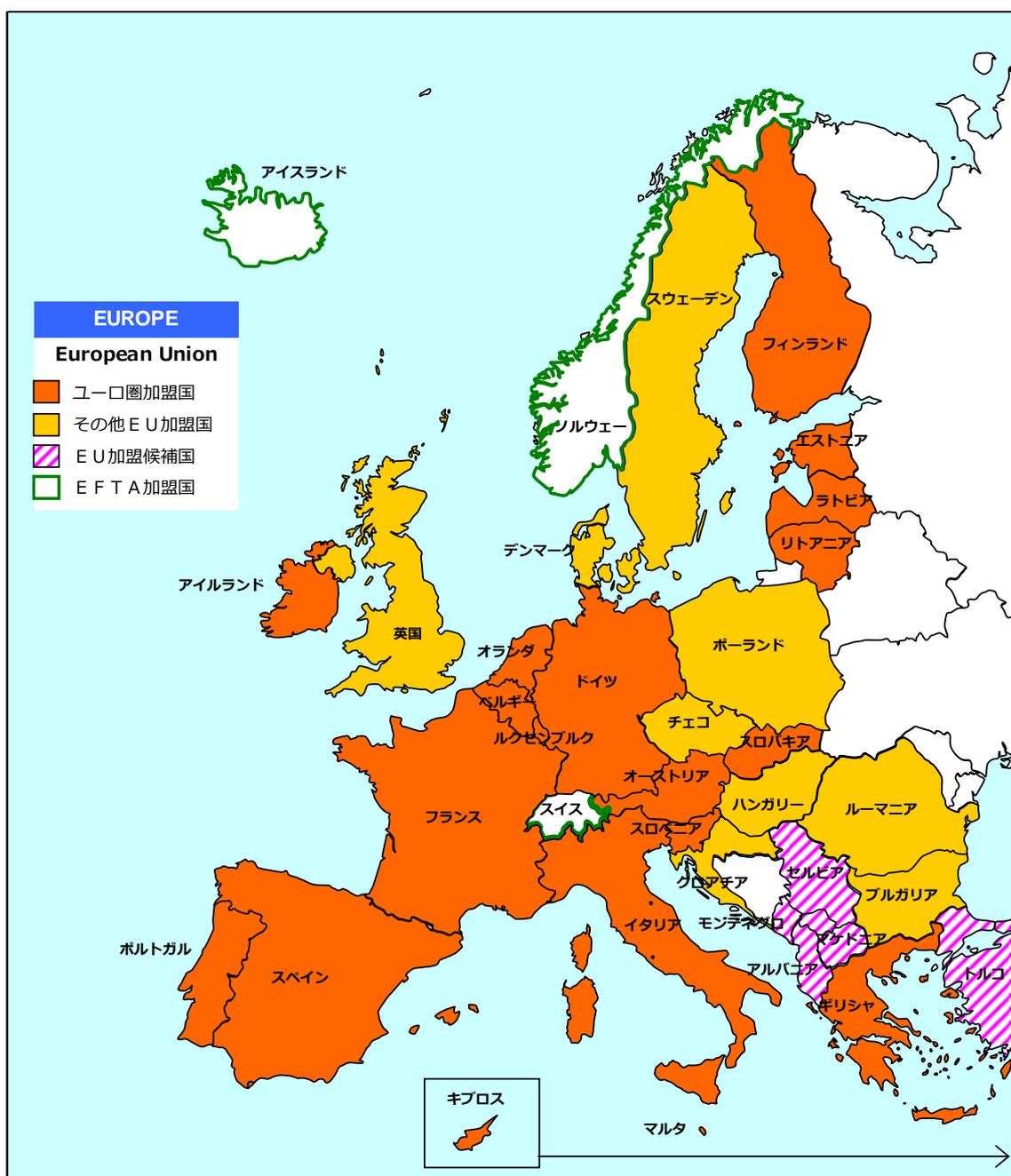


# 欧州経済アップデート (2017.6)

経済調査部  
主席研究員 山崎 加津子

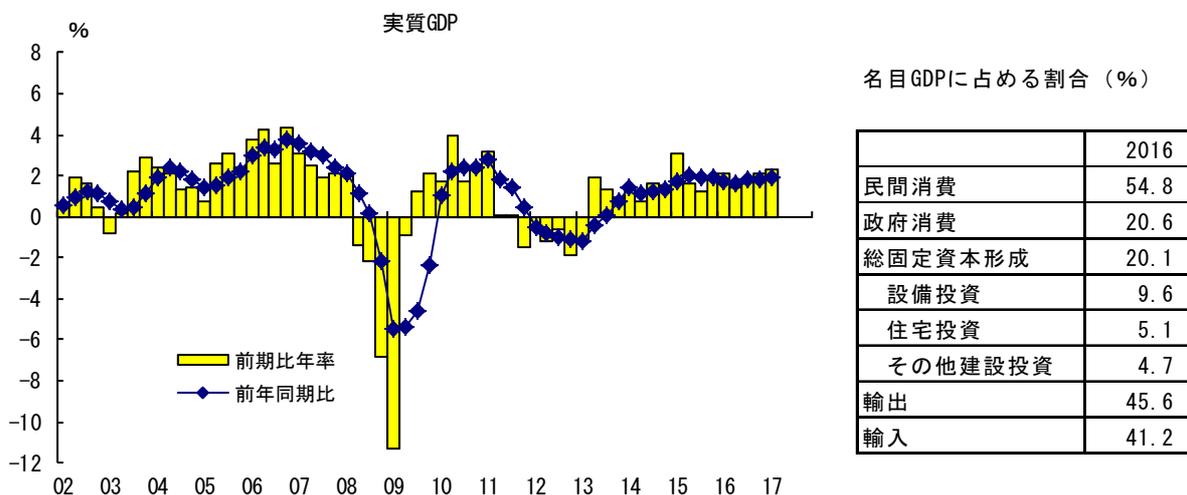


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

## ユーロ圏 GDP

- 17年Q1のGDP成長率は速報値の前期比+0.5%から改定値で同+0.6%に上方修正された
- 牽引役は内需で、個人消費は前期比+0.3%、総固定資本形成は同+1.3%と堅調に拡大
- 一方、純輸出寄与度は2四半期連続で前期比マイナスとなったが、マイナス幅は縮小した



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1
実質GDP	0.4	0.2	0.4	0.4	0.8	0.4	0.3	0.4	0.5	0.3	0.4	0.5	0.6
個人消費	0.0	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.7	0.4	0.4	0.4	0.3
政府消費	0.0	0.1	0.4	0.2	0.3	0.3	0.4	0.6	0.7	0.3	0.1	0.3	0.4
総固定資本形成	0.7	-0.6	0.8	0.3	1.7	0.0	1.2	0.8	0.5	1.2	0.0	3.4	1.3
設備投資	1.0	0.3	1.2	0.6	2.3	0.4	1.3	0.8	0.4	2.7	-1.5	6.5	1.4
住宅投資	1.0	-1.5	0.5	0.1	0.8	0.3	1.3	0.6	0.8	0.4	1.8	0.4	0.8
その他建設投資	-0.5	-1.4	0.2	-0.2	1.4	-1.5	0.7	1.1	0.2	-1.4	1.3	-0.2	1.8
輸出	0.9	1.0	1.6	1.4	2.6	1.1	0.3	0.7	0.4	1.2	0.4	1.7	1.2
輸入	1.1	1.4	1.5	1.3	2.4	0.8	1.3	1.4	0.0	1.6	0.3	3.8	1.3

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

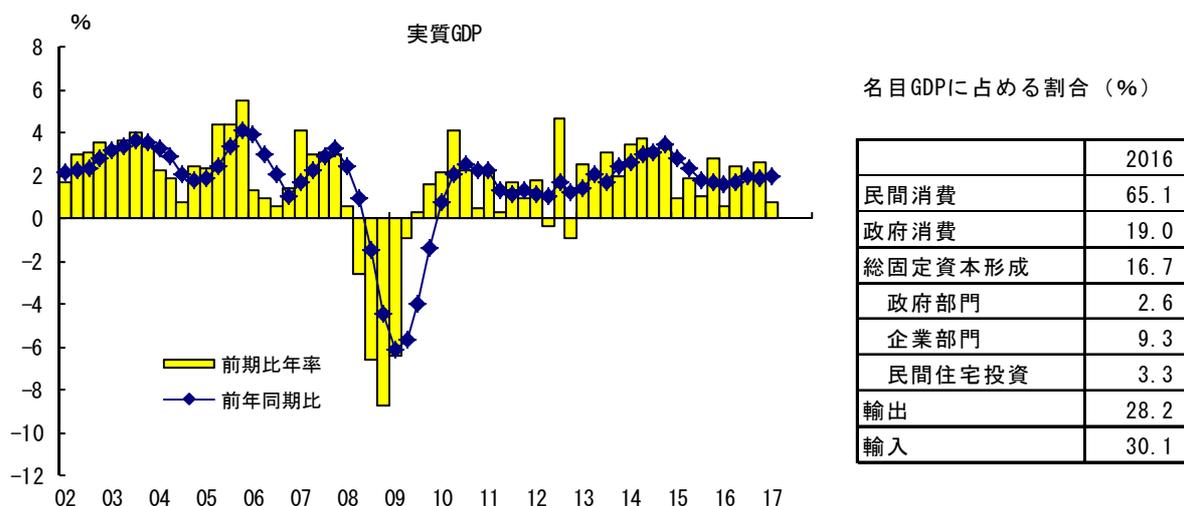
	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1
実質GDP	0.36	0.19	0.41	0.38	0.77	0.39	0.31	0.45	0.52	0.35	0.44	0.52	0.58
個人消費	-0.02	0.17	0.20	0.28	0.25	0.25	0.24	0.21	0.39	0.24	0.21	0.23	0.19
政府消費	0.00	0.02	0.08	0.05	0.07	0.06	0.09	0.12	0.16	0.06	0.02	0.06	0.08
総固定資本形成	0.13	-0.11	0.16	0.06	0.34	-0.01	0.24	0.16	0.09	0.24	0.00	0.68	0.27
設備投資	0.10	0.03	0.12	0.06	0.23	0.05	0.14	0.08	0.04	0.28	-0.15	0.67	0.15
住宅投資	0.05	-0.08	0.03	0.01	0.04	0.02	0.07	0.03	0.04	0.02	0.09	0.02	0.04
その他建設投資	-0.02	-0.07	0.01	-0.01	0.07	-0.07	0.03	0.05	0.01	-0.06	0.06	-0.01	0.08
在庫変動	0.33	0.20	-0.14	-0.10	-0.07	-0.09	0.15	0.21	-0.32	-0.11	0.13	0.39	0.03
輸出	0.38	0.46	0.73	0.61	1.19	0.53	0.14	0.34	0.17	0.58	0.21	0.78	0.57
輸入	-0.45	-0.55	-0.62	-0.52	-1.00	-0.33	-0.54	-0.59	0.02	-0.67	-0.12	-1.65	-0.58
純輸出	-0.07	-0.09	0.11	0.09	0.19	0.19	-0.40	-0.25	0.19	-0.09	0.08	-0.86	-0.02

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

\*このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり  
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

## 英国 GDP

- 17年Q1のGDP成長率は前期比+0.2%と、16年Q4の同+0.7%から大幅に減速
- 個人消費が前期比+0.3%に減速したことに加え、純輸出寄与度が前期比-1.37%ptとGDP成長率を大幅に押し下げた
- 一方、総固定資本形成は前期比+1.2%と7四半期ぶりの伸び率に持ち直した



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1
実質GDP	0.8	0.9	0.8	0.8	0.3	0.5	0.3	0.7	0.2	0.6	0.5	0.7	0.2
個人消費	0.2	0.5	1.3	-0.2	0.8	0.5	1.0	0.4	0.7	0.7	0.7	0.7	0.3
政府消費	1.5	0.2	0.2	-0.2	0.4	0.9	0.6	-0.2	0.4	0.2	-0.1	0.0	0.8
総固定資本形成	2.8	-1.6	1.4	0.7	1.5	1.2	0.8	-0.9	0.0	0.2	0.6	0.1	1.2
政府部門	16.1	-20.5	9.1	-0.6	1.0	-0.8	-1.6	-0.3	1.2	0.4	4.2	1.3	0.4
企業部門	-3.4	6.0	-1.3	1.9	2.7	-0.3	1.9	-2.4	-1.1	0.8	0.4	-0.9	0.6
民間住宅投資	10.9	-8.1	4.6	-0.9	1.7	4.3	-1.7	1.8	1.6	0.4	-0.9	1.4	2.1
輸出	2.6	-0.3	-1.3	4.0	3.2	-0.7	-0.6	5.9	-2.9	1.3	-2.1	4.6	-1.6
輸入	-0.1	-1.3	1.1	2.8	4.1	-2.3	0.6	2.1	0.4	0.3	2.3	-1.0	2.7

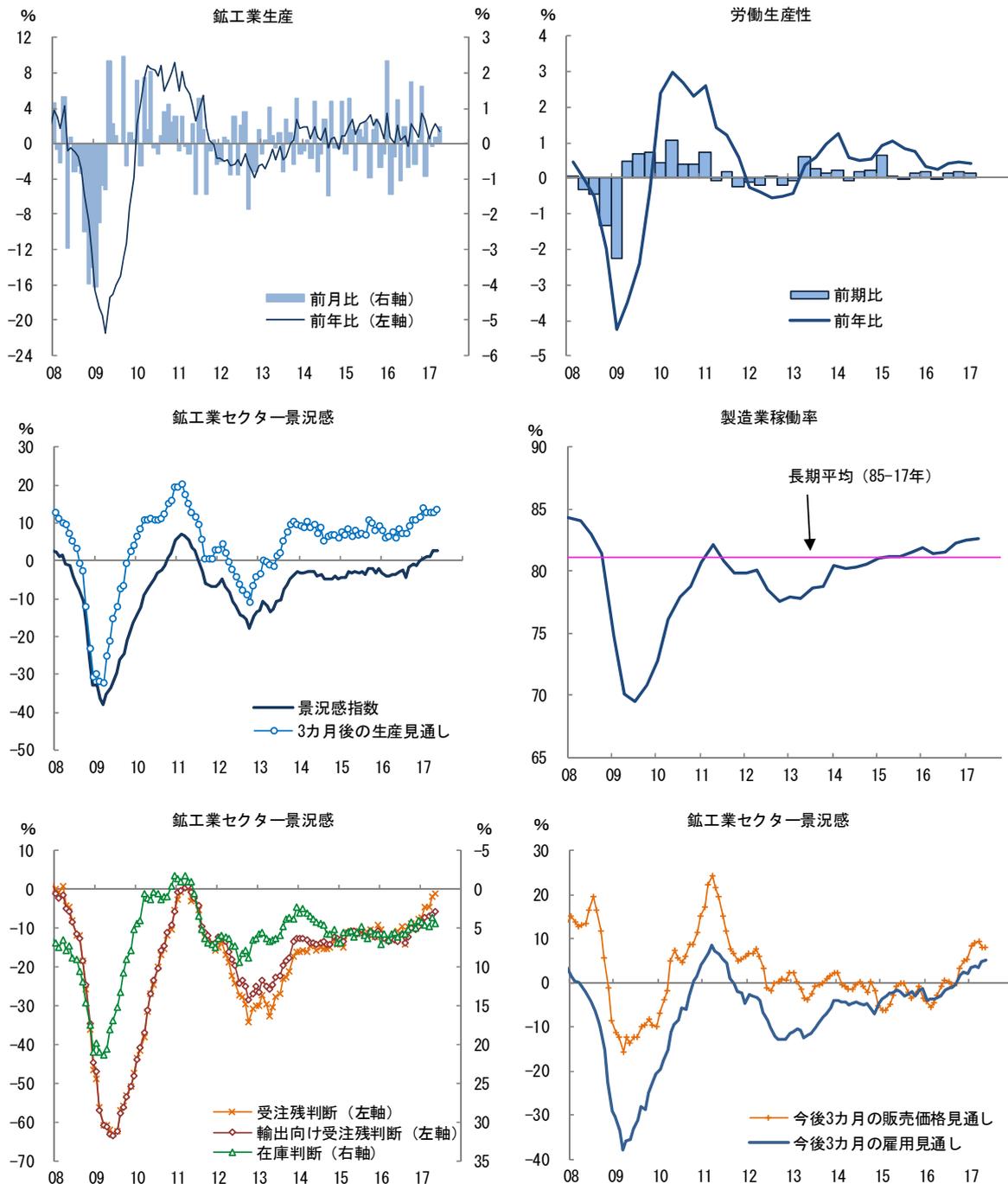
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1
実質GDP	0.85	0.93	0.81	0.83	0.25	0.48	0.27	0.69	0.15	0.60	0.50	0.66	0.18
個人消費	0.16	0.31	0.84	-0.10	0.49	0.31	0.63	0.27	0.48	0.48	0.47	0.46	0.22
政府消費	0.30	0.04	0.05	-0.05	0.08	0.18	0.11	-0.03	0.07	0.04	-0.03	0.00	0.15
総固定資本形成	0.46	-0.27	0.24	0.11	0.24	0.21	0.13	-0.15	0.00	0.04	0.09	0.02	0.20
政府部門	0.44	-0.64	0.22	-0.02	0.03	-0.02	-0.04	-0.01	0.03	0.01	0.11	0.03	0.01
企業部門	-0.32	0.55	-0.12	0.18	0.25	-0.03	0.19	-0.23	-0.11	0.07	0.03	-0.09	0.06
民間住宅投資	0.34	-0.28	0.15	-0.03	0.06	0.14	-0.06	0.06	0.05	0.01	-0.03	0.05	0.07
在庫変動	-0.68	0.52	0.43	0.61	-0.29	-0.81	-0.26	-0.55	0.34	-0.43	1.25	-1.63	0.99
輸出	0.75	-0.10	-0.39	1.13	0.94	-0.22	-0.18	1.76	-0.92	0.39	-0.65	1.37	-0.48
輸入	0.04	0.42	-0.36	-0.88	-1.32	0.77	-0.18	-0.68	-0.15	-0.10	-0.77	0.35	-0.89
純輸出	0.79	0.32	-0.75	0.26	-0.38	0.55	-0.36	1.08	-1.07	0.29	-1.43	1.73	-1.37

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 生産

- 4月の鉱工業生産は前月比+0.5%と2カ月連続で拡大
- 5月の鉱工業セクター景況感は前月から小幅に改善し、6年ぶりの高水準。構成項目のうち生産見通しと受注残判断が改善している
- 鉱工業セクターの雇用見通しは過去1年半にわたって改善傾向にある

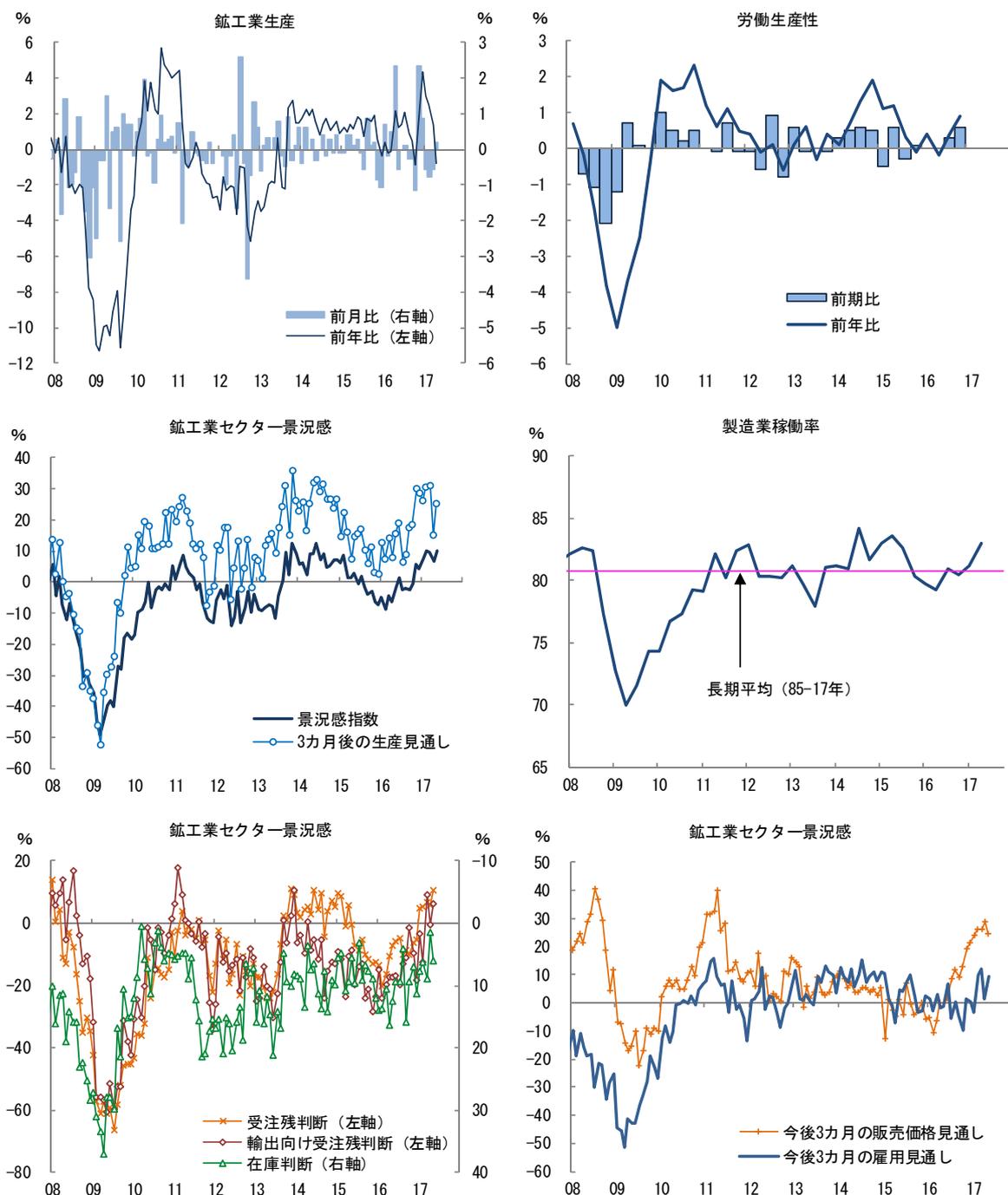


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

## 英国 生産

- 4月の鉱工業生産は前月比+0.2%と4カ月ぶりに持ち直したが、前年比は-0.8%と半年ぶりに落ち込んでしまった
- 5月の鉱工業セクター景況感は3カ月ぶりに前月比で改善。構成項目のうち受注残判断が大幅に改善してほぼ3年ぶりの高水準となり、生産見通しも改善した
- 鉱工業セクターの販売価格見通しは16年半ば以降、ほぼ一貫して価格上昇を見込んでいる

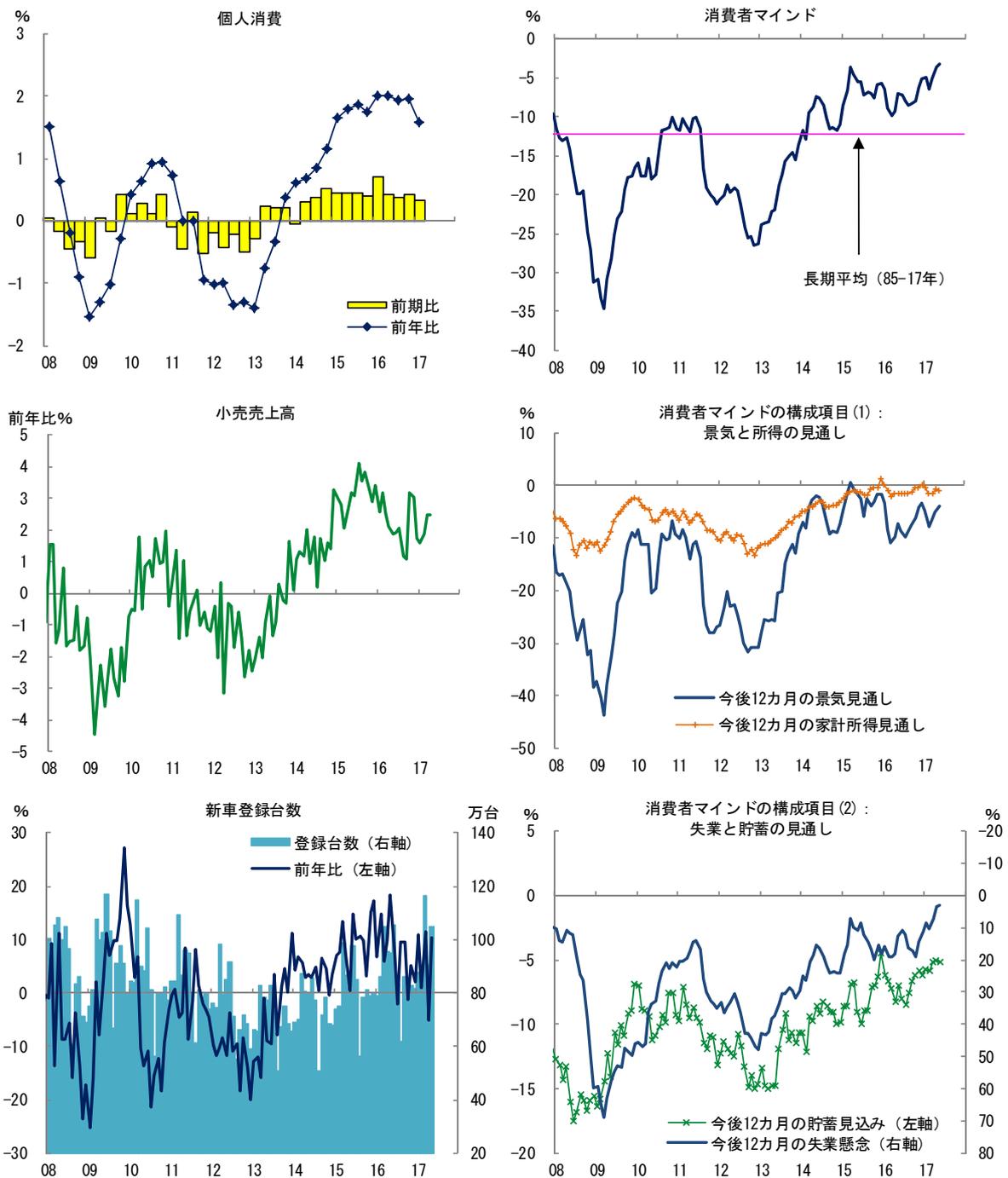


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 消費

- 4月の小売売上高は前年比+2.5%、5月の新車登録台数は同+10.4%とユーロ圏の消費関連の指標は良好
- 5月の消費者マインドは-3.3%と金融危機以降の最高水準を更新した
- 景気見通しが改善し、失業懸念が後退していることが消費者マインドの改善要因である

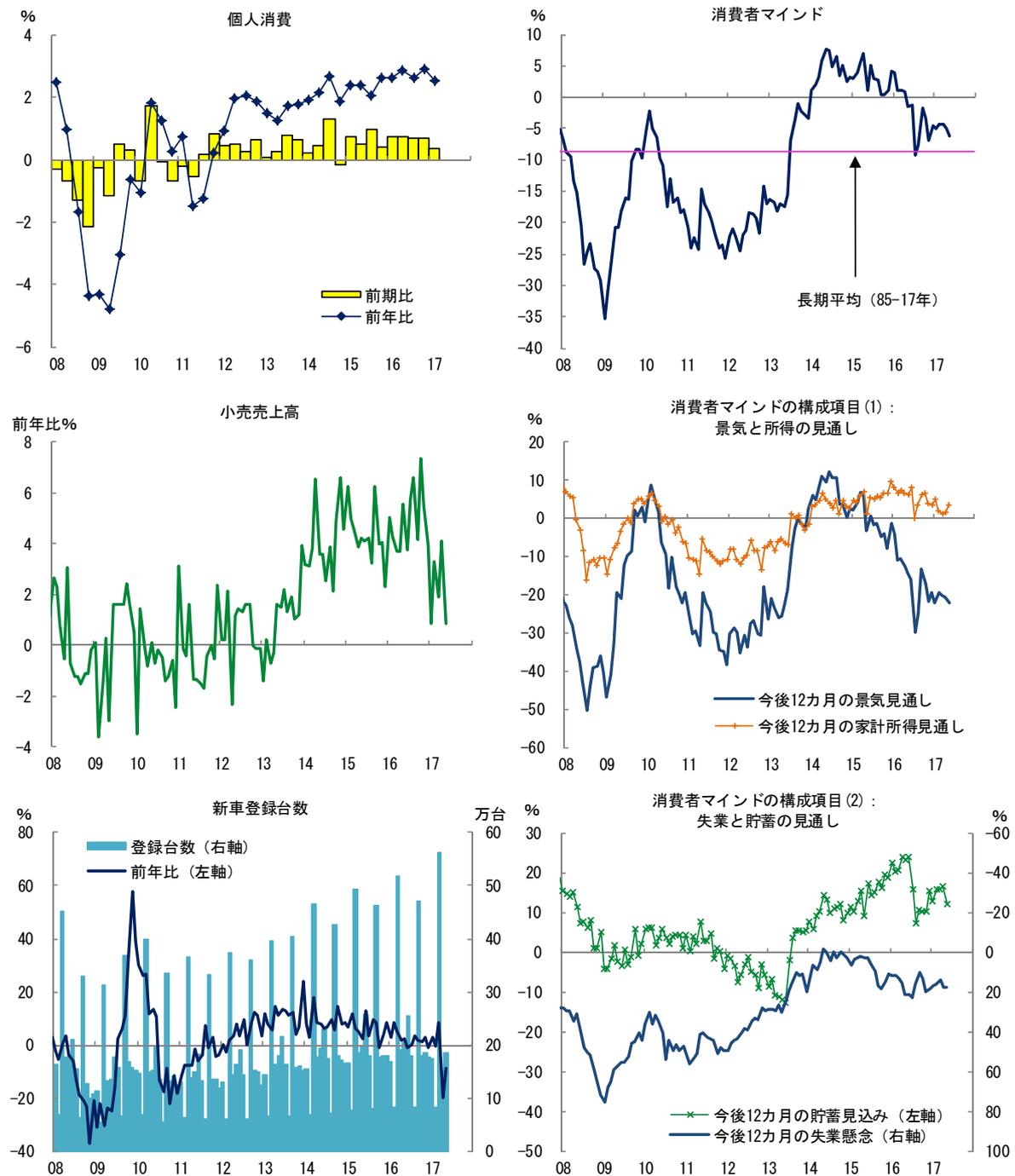


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## 英国 消費

- 5月の小売売上高は前年比+0.9%へ減速
- 5月の新車登録台数は前年比-8.5%と4月の同-19.8%に続いて軟調。4月1日から自動車税（VED）が増税となっており、3月までの駆け込み需要の反動が出ている
- 5月の消費者マインドは-6.1%と2カ月連続で前月比悪化

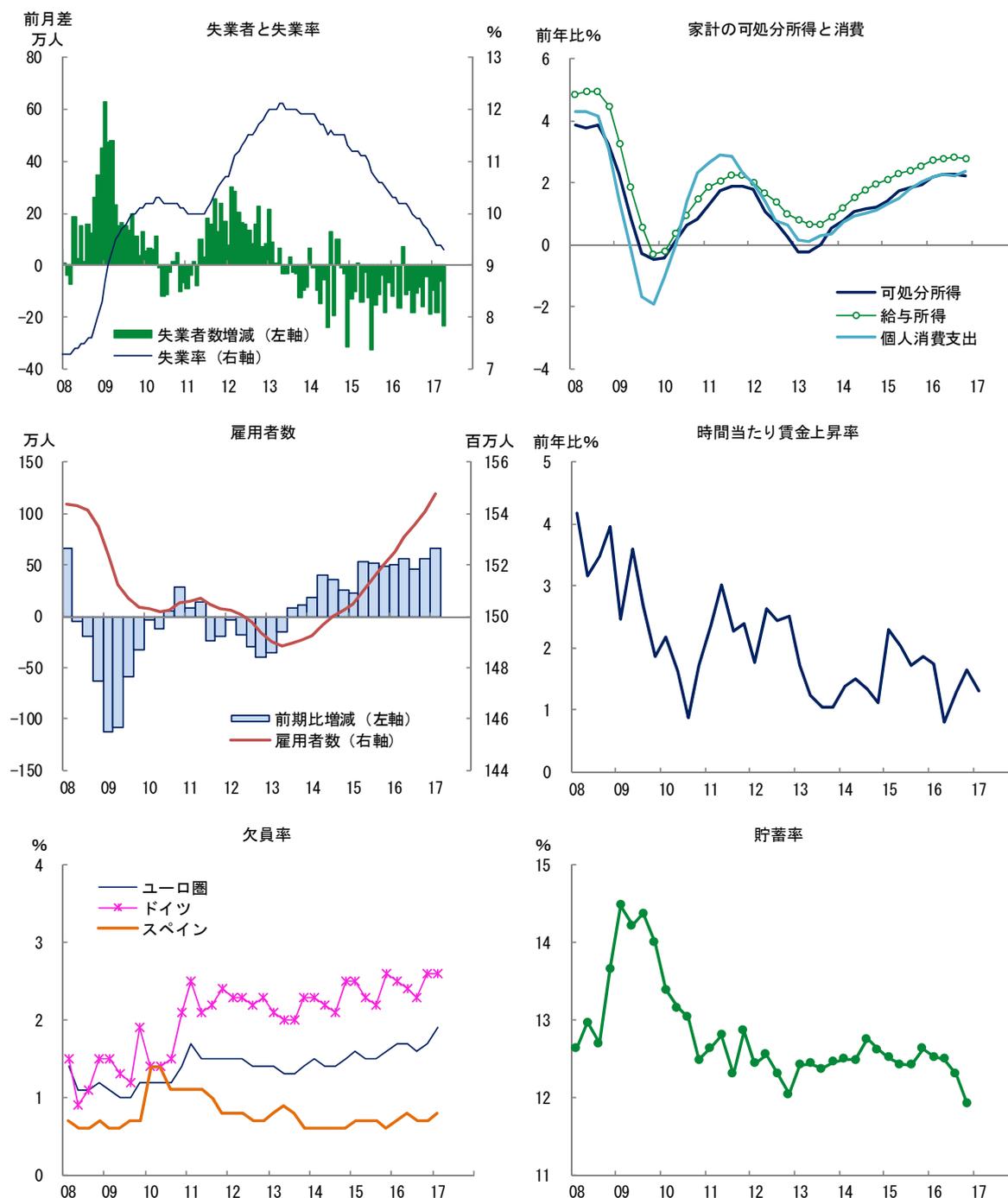


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## ユーロ圏 雇用・所得

- 4月の失業率は9.3%と09年3月以来の水準に低下した
- 17年Q1の雇用者数は前期比66万人増の1億5,477万人となり、金融危機前のピークだった08年Q1の1億5,436万人を初めて上回った
- 17年Q1の時間当たり賃金上昇率は前年比+1.3%と16年Q4の同+1.6%から減速した

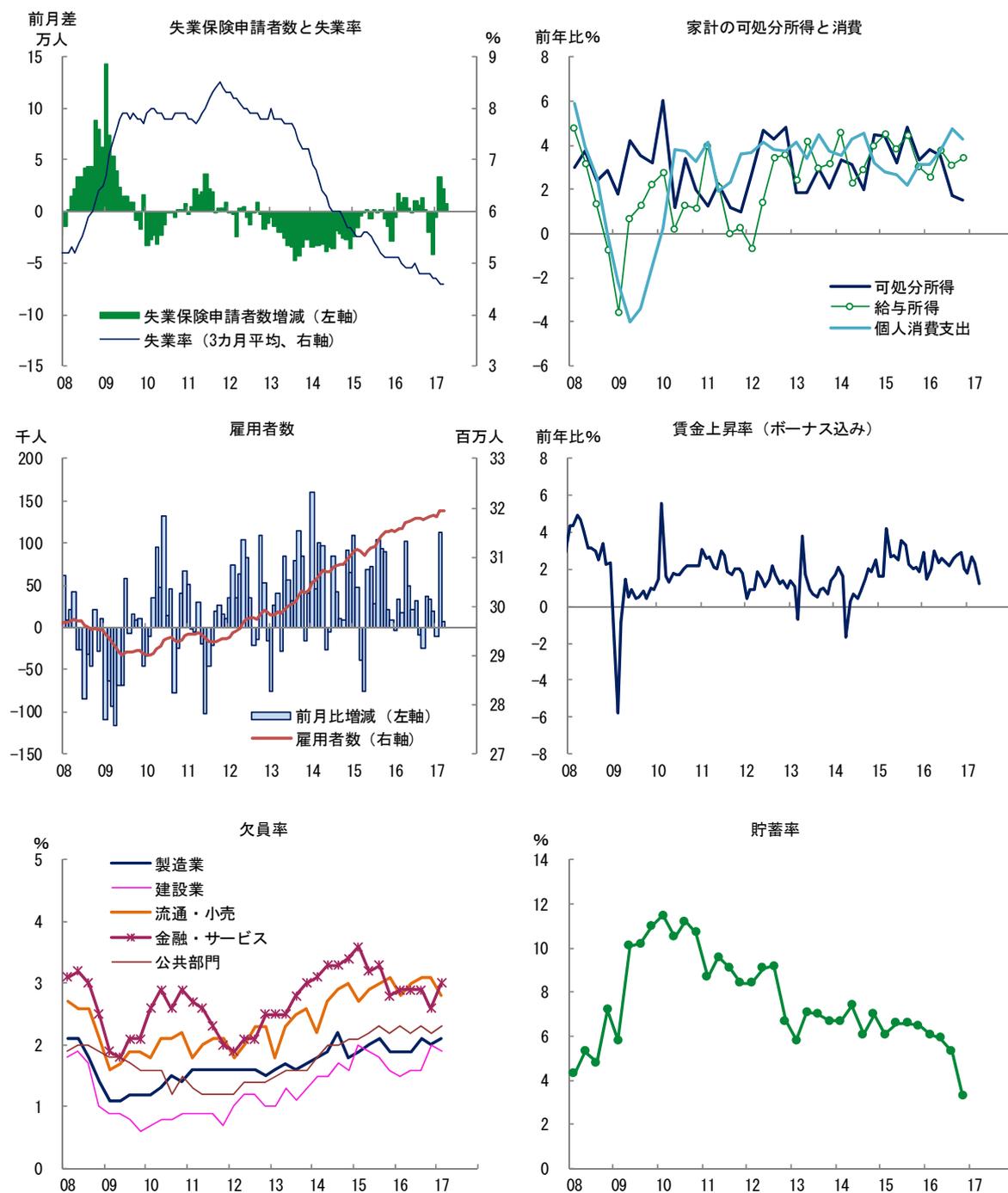


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

## 英国 雇用・所得

- 2-4月平均の失業率は75年以来の低水準となった1-3月平均と同じ4.6%
- 3月の雇用者数は前月比0.7万人増の3,195万人
- 4月の賃金上昇率は前年比+1.2%に減速。2-4月平均は同+2.1%とおよそ1年ぶりの水準へ伸び率が鈍化している

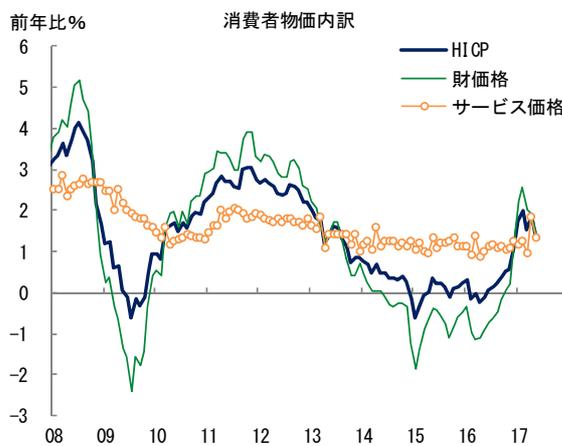
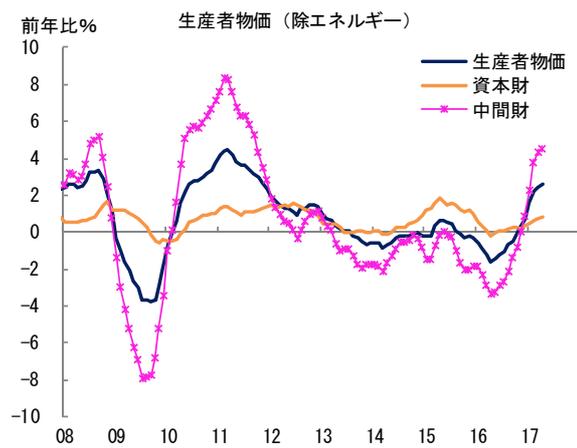


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 物価

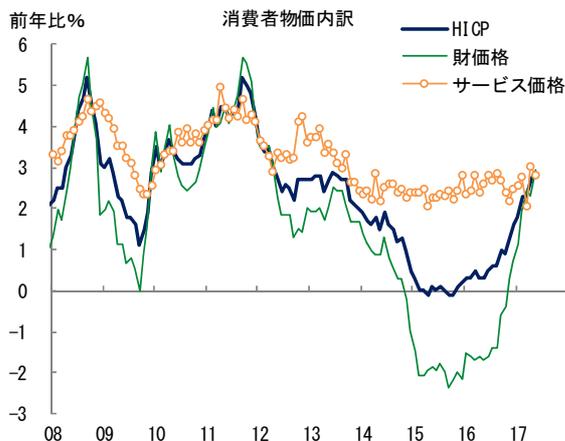
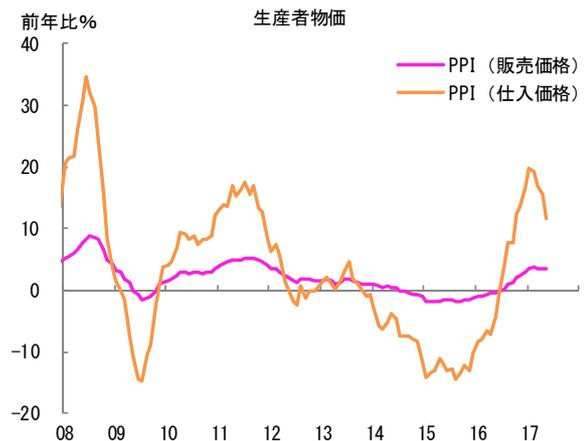
- 5月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.4%へ減速。原油高によるインフレ圧力が低減していることに加え、イースターに伴うサービス価格の一時的な上昇が消えた
- 5月の原油価格（北海ブレント）は1バレル当たり50.3ドルと小幅に下落。前年比伸び率は2月の+77.8%をピークに鈍化傾向にあり、5月は+7.7%となった
- 食品、アルコール、たばこ、エネルギーを除いたコア物価上昇率は4月の前年比+1.2%から5月は同+0.9%に減速



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

## 英国 物価

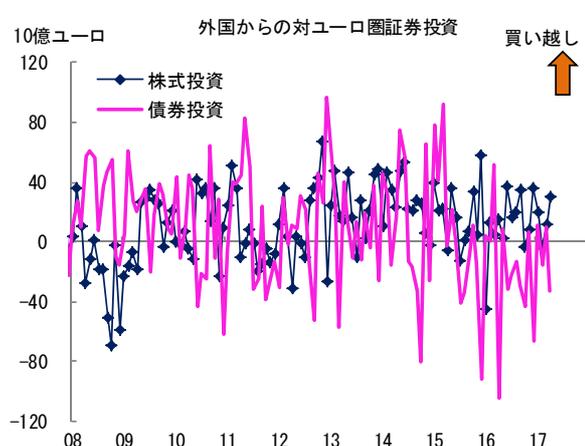
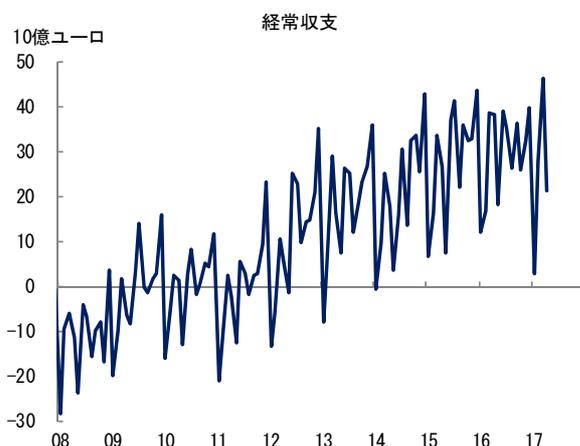
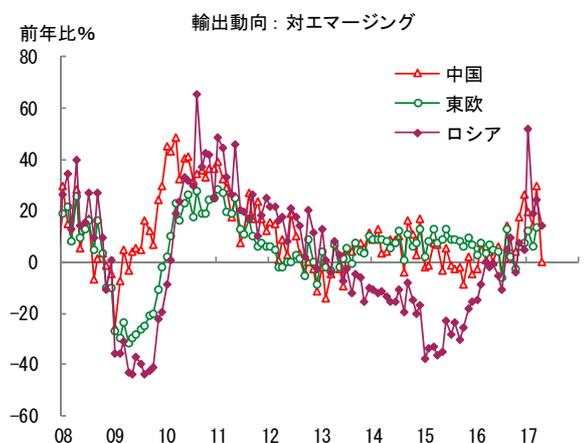
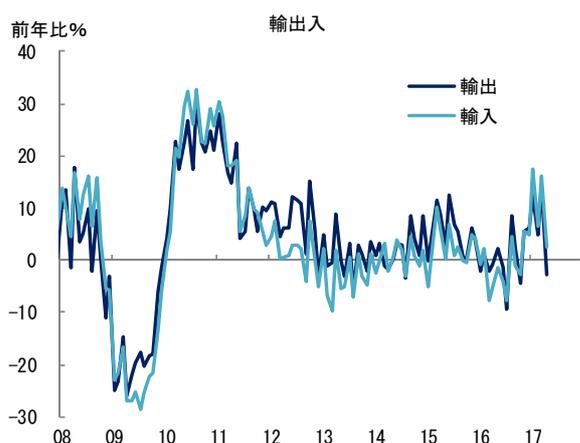
- 5月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.9%に加速し、13年6月以来の高水準。イースター効果が消えたサービス価格は同+2.8%と若干減速したが、財価格が同+2.9%へ加速
- エネルギーなどを除くコア物価上昇率も5月は前年比+2.6%に加速した
- 5月のポンドの実効為替レートは前年比では-9.2%と、引き続き輸入物価の押し上げ要因となっている



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 国際収支

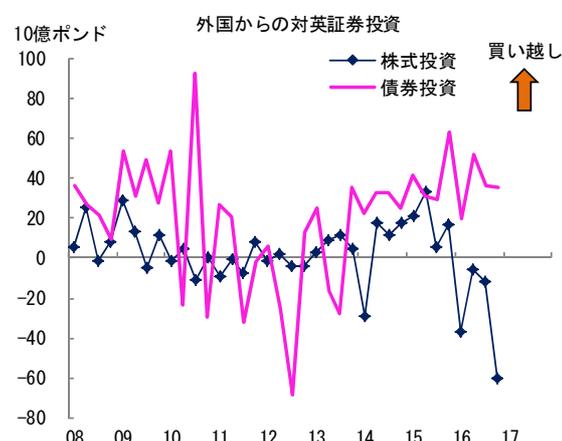
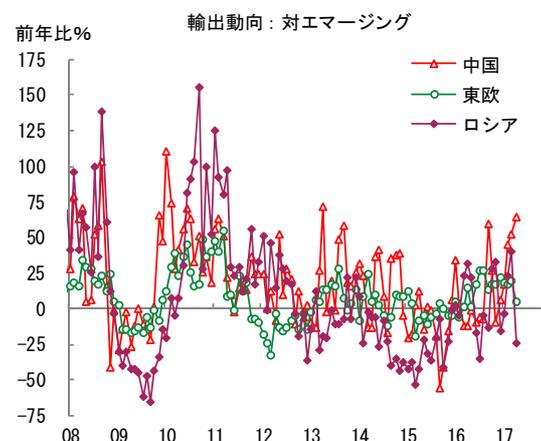
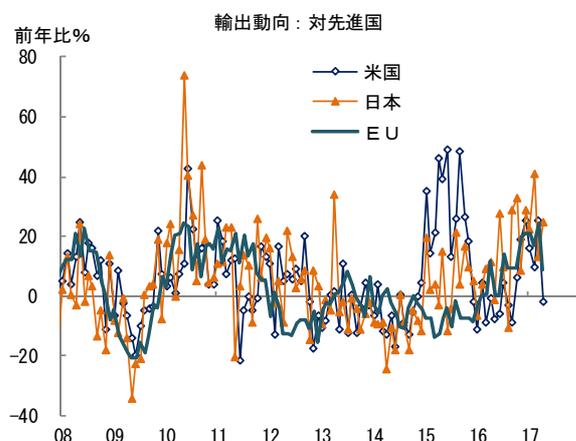
- 4月の輸出は前年比-2.8%と落ち込み、輸入は同+2.7%と急減速して、前年比二桁の伸びだった3月と比較して大幅に悪化した
- ただしこれはイースターの時期が昨年は3月、今年は4月とずれた影響を受けている。3-4月平均では、輸出は前年比+5.8%、輸入は同+9.4%と堅調な伸び
- 4月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、株式投資は3月比で買い越し額が拡大した一方、債券投資は売り越しに転じた



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

## 英国 国際収支

- 4月の輸出は前年比+12.9%、輸入は同+7.5%と、3月までと比較して伸び率はやや鈍化したものの、そろって拡大
- 4月の輸出を相手先別に見ると、シェア48%のEU向けは前年比+8.8%と順調に拡大し、中国向けは同+64.5%と急拡大した。一方、シェア18%の米国向けは同-2.1%と落ち込んだ
- 5月の輸出向け受注残判断は前月から反発して6.4%まで改善。85年以降の長期平均である-14.6%を大幅に上回っている



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成